

# そよかぜ

題字 小野倉藏

なかへ学院  
中部少年学院後援会

〒750-0081  
山口県下関市彦島角倉町  
3丁目6番17号

TEL (083) 266-1934

発行 広報部

印刷

(株)ナカハラプリンテックス  
TEL (083) 266-4601



児童養護施設なかへ学院

施設長 咲賀信幸

10月12日体育の日、なかへ学院運動会を開催いたしました。昨年は台風の影響で中止。今年のさつき祭も雨、盆踊りも中止：：であっただけに天候が心配されました。

「秋晴れの好天の下で」とはいきませんでした。保護者や学校の先生や級友、そして学院のことをご支援頂いている地域の方々等、たくさんご参加していただき、子ども達も職員も、楽しいひと時を過ごすことができました。子ども達の成長の一端を垣間見ていただけたと存じます。ご参加された皆様には、厚く御礼申し上げますとともに、近所の皆さまには、音響等で大変ご迷惑をおかけしましたことを、紙面をお借りしてお詫び申し上げます。



さて今年4月から、子ども・子育て支援新制度が施行され、児童家庭福祉が大きな転換期を迎えています。また今年度は「社会的養護」と総称されるシステムが見直され、「施設の小規模化と地域分散化」を図る『家庭的養護推進計画』の初年度でもあります。

なかへ学院では、当面の家庭的養護推進計画として「乳児院の建て替え・小規模化」をめざし、その後に「児童養護施設の小規模化と地域分散化」と考えています。(ただ、児童養護施設は平成23年度に建て替えを行なったばかりですので) 建物はそのまま小規模化していきながら、地域にグループホームを複数開設していく計画です。

また、社会福祉法人のあり方や地域貢献活動、子どもの貧困や児童虐待、人材不足等々、法人や児童を取り巻く多くの課題もあります。皆様のお知恵も借りながら、理事長や役員・職員と力を合わせて立ち向かって行こうと思っております。今後も、さまざまなお協力をお願いすることと存じますので、その際には、どうかよろしくお願ひ申し上げます。



# ホーム便り

**花ホーム** 男児が一人だった花ホームにも、イケメン男児が二名仲間入り。16名(幼稚園児9名、未就園児7名)となった我が家は、更にパワーアップ。賑やかな毎日を送っています。

中庭花壇で育てたイチゴの収穫を楽しみにしていた子ども達。虫達に食べられるというハプニングにシヨク。それでも収穫したイチゴを少しずつ食べたときの味は格別だったのでしょう。幸せそうな表情をしていました。夏には、たくさんひまわりが咲き誇っていました。子ども達の「ひまわり」という歌声が耳に残っています。

また、7月1日より新メンバーの鶴濱育士が加わりました。よろしくお願ひします。子ども達についてインタビューしてみました。「子ども達を一言で表現すると?」「花にたとえる」と?」答えは「天真爛漫」「ひまわり」でした。私も思わず頷きました。ひまわりのように、強く逞しく、皆を笑顔に出来るような児に育つてほしいと願っています。



**海ホーム** 新しい年度を迎え、二つ学年が上がりとりとりの成長が見られる今日この頃です。新しい職員も迎え、日々、子ども達と格闘中です。小学一年生に上がった児童が学校に慣れるかどうかとの職員の心配もよそに、毎日楽しく学校生活を過ごしているようでひと安心しました。夏休みには、昨年、台風で中止となった民宿原田へのキャンプに出かけることが出来、大喜びでした。但し、学校行事の職場体験と重なった児童は泊まるだけではありませんでしたが、楽しむ事が出来た様です。そんな夏休みも後半は宿題に追

われる毎日であり、子どもたちと共に職員も一緒に四苦八苦する日々を過ごしました。計画を立てていたはずなのですが…来年こそは焦ることのないようにと思っています。



**月ホーム** 四月、今まで幼稚園に通っていた子どもたちもいよいよヒカピカの小学校一年生。大きなランドセルを背負って喜びに胸を膨らませ笑顔でカメラに納まっています。八月には、更にもう一人新しい仲間も増え、十四人の子も達とワイワイガヤガヤ過ごしています。

夏には、恒例の海水浴キャンプに泊二日お泊りしました。去年は、天候の関係で出来なかつた事もあり、一年生は初めての宿泊キャンプでした。みんな砂浜でのバーベキューにスイカ作り、花火といろいろなことに目を光らせて、職員と一緒に楽しい時間を過ごすことが出来ました。今年も、台風や天候不順が多く、計画していた行事が中止になることもありましたが、買い物やプラネタリウムに行ったり、また違った経験をすることになり楽しいひと時を過ごせたこと、良い思い出になってくれたことと思います。



**鳥ホーム** 今年の夏休み。民宿原田へのお泊り!! ひとつらんとマリンスピーチへ海水浴!! 町内盆踊り!! コロナホールにダンスに行きました。それでも…びっくり!! 8月31日になって『宿題が終わらん』ということはありませんでした。皆職員と一緒に計画通り進めていました。感心感心。高校生のお兄ちゃん達は、部活や就職活動に大忙しで、なかなか一緒に出掛けることは出来ませんでした。残念ですが、お兄ちゃん達も納得してくれています。



残念だったのは、学院盆踊りが中止になったこと。基平まで準備して待っていたのに…でも、台風なら仕方ない。基平は、馬関まつりに着て行きました。今年の夏も、皆の成長を目の前で見ることができたよ。

**風ホーム** 今年も元氣一杯、キャンプ、海水浴、お祭り、例年通りの行事ですが、子ども達は楽しかったようです。仲良しあそんでいたかと思えば、すぐにけんか。泣いたり笑ったり。大忙しです。去年のお祭りですくった金魚が、若干数は減りましたが…まだ生きています! 奇跡です! そして大きくなりました。今年も金魚をすくって帰りました。ある意味救ったつもりが、翌日には天国にお見送りすることになりました。「誰かが食べるんじゃない?」「この声もありました、何か元気に泳ぎ回っています。」



女の子はおしゃれが好き。学院盆踊りが残念ながら中止になり、浴衣はお祭りに着ていくことにしました! 今年も長かった夏休みが終わりました。毎度のこと、台風にも負けない嵐が吹き荒れた日もありました。子ども達の笑顔は、私たちの元気の源です!

# 紙風船便り

紙風船では、夏休みに生野あそぼろ会代表の井上幸子先生を講師としてお招きし、地域の子どもたちを対象に、彦島公民館で工作教室を行いました。

今年も20名近い子どもたちが参加してくれ、変わり絵に挑戦しました。みんなそれぞれのアイデアを出し、時間をかけて丁寧に作成していました。丁寧に作るあまり、時間の足りないこともあったようですが、楽しみながら工作をする事が出来ました。最後に数名の子どもが発表をしましたが、しっかり自分の作った作品を紹介する事が出来ました。

保護者の参加も数名ありましたが、子どもが一生懸命考えて作成している姿を少し心配しながら見守っている姿もあり、良い雰囲気の中、今年も工作教室を終えることが出来ました。

今後も紙風船の認知度を上げ、地域に根ざした気軽に寄れる紙風船を目指して頑張りたいと思います。



### 乳児院便り

乳児院では生後6カ月頃に「生涯 食へる ことに困らないように」との願いを込めて尾頭付きの鯛・赤飯・焼き物・香の物・吸い物などのお祝い膳を用意し、お食いの初めをしています。子どもたちは初めての料理を前にして興味を示し、手を伸ばして触ったり、驚いて泣き出したりと様々ですが、保護者や担当職員に抱かれ食べ物にすると不思議そうな顔をして口を動かす姿も見られます。子どもたちの健やかな成長を願って行きたいと思えます。



### そよ風からの一歩ずつの自立に向かって

障害児が将来、社会生活を営む上で身に付けてもらいたいことがあります。専門的には、自立課題とか作業学習と呼ばれています。そよ風でも、児童に応じた様々な学習内容を準備しています。一つは、生活に直結した内容です。掃除の方法、洗濯物の整理、ごみ処理、台所関係等の仕事です。二つ目は機能訓練に結びつけた内容です。紐通しや色形の弁別等、目と手の協応や巧緻性を高めるものです。三つ目は、身体機能全体を高める内容です。パランスボール、ボールプール、音楽等を使っている運動です。

そよ風では、こつこつとした連の活動を写真や絵カードを使って「スケジュール表」で提示してわかりやすいように工夫しています。



### 【寄附・寄贈】

平成27年3月～9月

たくさんの方のご支援に心から感謝申し上げます

- ・ 下関遊技場防犯組合
- ・ 宇部魚市場(株)
- ・ 粟屋幹雄
- ・ アトリエ心
- ・ 末永卓哉
- ・ 梶畑富子
- ・ 藤田昌雄
- ・ 中村清治
- ・ 中村勝裕
- ・ 中村仁志
- ・ あべ晋三事務所
- ・ 山口県下関水産振興局
- ・ 小長谷正子
- ・ 福川太一
- ・ Wホールディングス
- ・ 太古窯 白石家門
- ・ 異業種交流会
- ・ (有)小宮山設備
- ・ 菓道敬神会
- ・ 匿名
- ・ ガイア長府店
- ・ 榎本朱美
- ・ 上谷
- ・ リトミック教室
- ・ 早崎清
- ・ 塩谷康子
- ・ 植田実知子
- ・ 戸倉淳
- ・ 中部少年学院後援会
- ・ 部坂総社
- ・ 有限会社 増田塗建
- ・ 長井邦子
- ・ 田邊谷子
- ・ 海上自衛隊下関基地隊
- ・ 石和久美子
- ・ 東海林拓也
- ・ 匿名
- ・ オペラユニットレジェンド
- ・ 関門JAPAN
- ・ ボクシングジム
- ・ 山口県阿川漁協組合
- ・ 西島幸代
- ・ (株)ものばんく
- ・ セブイレブン
- ・ 下関彦島福浦口店
- ・ 志方弥公
- ・ 山口整形外科
- ・ 山本和美
- ・ 中尾清
- ・ Sun Set 77
- ・ 大江正人
- ・ 常閑寺
- ・ 浄土真宗本願寺派
- ・ 豊浦組仏教婦人会
- ・ 株式会社フランドゥ
- ・ フードバンク山口
- ・ 般社団法人日本
- ・ レコード協会
- ・ 大和有子
- ・ 大川原
- ・ 国際ソロプチミスト
- ・ 東下関
- ・ (株)ダッドウェイ
- ・ 鈴木えり子



### 木暮実千代と社会福祉活動②

### 光の子としてあゆめ

寺田 弘

木暮実千代、本名和田つまは江戸期の藩政時代に北前船で栄えた彦島の福浦で生まれた。福浦金比羅神社のそばで育った彼女は、男の子に混じって坂を滑り降り、目の前の海ではだれよりも泳ぎまくったので、近所の人々から「オートン」と呼ばれて親しまれた。

昭和五年に入学した梅光学院では、その腕白振りをいかんなく発揮して、一躍校内の人気者になった。こんなこともあった。成績はほどほどだが、頭の回転はすこぶる速い。国語の時間に「百人一首の歌で好きなものを一句あげなさい。はい、和田さん」。すかさず彼女は、「わだの原 ふりさけみれば 春日なる」とやって、教室は大爆笑。もちろん「これは「天(あま)の原」の言い換えだ。また船着き場の岬之町(はなのちよ)では、美少女追っかけの不良男子とキッスをしていたという噂も流されるくらい、校則すれすれの札付きの生徒であったようだ。だが学院の卒業前年に、当時の広津院長の敬虔な信仰生活からくる『感謝と報恩』の生活態度にうたれ、クリスチャンで当時の超有名人賀川豊彦の来校を機にひそかに洗礼を受けていたようだ。

卒業後は東京に行き、日大芸術学部に進み、江ノ島のページントの出演を機に松竹にスカウトされ、『春雷』『純情二重奏』『木石』『暁の合唱』『迎春歌』など、順調な映画人として成長していった。そして終戦直前に夫のいた旧満州に子どもと母親とともに引っ越した。

そんな中での話。戦前松竹大船撮影所でこわくて女優たちが近づけなかった照明の班長が、太平洋戦争終戦後軍隊から帰ってくるや、「木暮君だけが欠かさず慰問袋を送ってくれた。それを励みに生きて帰って来れたんだ。木暮君はどうした！ソ連軍の追撃で命の保証などない満州からまだ帰れないなんて、あまりにも可哀相すぎる」と、鬼の涙を流したという。「空気も水も食物も大地も一切ささずかったのだから、ただで受けたものはただで与えるがよい」「そして光の子としてあゆめ」という梅光で教え込まれた精神を、彼女は終生すなおに実践したようだ。



社会福祉法人 中部少年学院後援会  
平成26年度 収支報告書

単位 円

Table with 5 columns: 項目, 決算額, 予算額, 差引, 摘要. Rows include 収入部 (年会費, 寄附金, etc.) and 支出部 (事業費, 広報費, etc.).

平成26年度 決算報告

資金収支計算書

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日 (単位 円)

Table with 7 columns: 勘定科目, 合計, 本部, 児童養護, 乳児院, 紙風船, そよ風. Rows include 経営活動による収支 (収入, 支出) and 財務活動による収支 (収入, 支出).

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位 円)

Table with 4 columns: 資産の部 (科目, 金額), 負債の部 (科目, 金額). Rows include 流動資産, 固定資産, 流動負債, 固定負債, 純資産の部.

社会福祉法人 中部少年学院後援会 様  
平成26年度の収支について、上記のとおり報告いたします。

平成27年5月15日

社会福祉法人 中部少年学院後援会

会 計 小田 崇明

監査の結果、上記のとおり整理されており正当と認めます。

平成27年5月20日

会計監査 小倉 國雄

憤の一字



啓さんの知恵袋

理事長 石川 啓

憤とは発憤することです。「なにくそ 負けるものか。」「私にも出来ないこと はない。」と「ふるい立つ心のことです。 この憤の一字は学習を進めていく機 関車のようなものなのです。

後援会加入のお願い

後援会事務局

法人年会費 一口 一万円

個人年会費 一口 千円

何口加入されてもかまいません。 お問い合わせはなかべ学院まで

TEL 083-266-1634



爽やかな秋晴れの続く今日の頃、皆 様いかがお過ごしでしょうか。

今年の運動会は雨の心配もなく、なか べ学院後援会長を始め来賓の皆様、地域、 民生委員、後援会の皆様等沢山の皆様の 参加を頂き、子供達も今日は、自 分達が主役と、笑顔溢れるプログラムで 応援の拍手が止まない日でした、トピッ クス本号の表紙の写真は最近「写真撮影 に目覚めた石川理事長のスナップ写真を 掲載いたしました、愛用のカメラは「ペン タックス」で、理事長談「最近のデジカメ は非常に性能がいいです」との事です。 皆様もカメラを持って紅葉狩りなど如何 ですか。

(太刀山 逸男)